

松山市議会 副議長選挙に係る所信表明会会議録

〔開催日時〕

令和 6 年 7 月 4 日（木曜日）午後 3 時20分開会
午後 3 時27分閉会

〔開催場所〕

議 場

〔所信表明者〕

1. 清 水 尚 美 議員（公明党議員団）

— 午後3時20分開会 —

○白方 仁事務局長 ただいまから松山市議会副議長選挙に係る所信表明会を開催いたします。

失礼して着席にて進行させていただきます。

お手元配付の所信の概要のとおり、清水尚美議員から所信表明の申出がありました。

この際、申し上げます。

申合せにより、所信表明に対しては、何人も拍手、その他の方法により賛意を表し、またはやじ、その他の方法により反意を表してはならないこととなっておりますので、御注意を願います。

それでは、清水尚美議員、所信表明をお願いいたします。

〔清水尚美議員登壇〕

○清水尚美議員 公明党の清水尚美でございます。

皆様方の貴重なお時間をいただき、これより副議長選の実施に先立ちまして所信を述べさせていただきます。

アフターコロナを体験している今、私たち議員に求められていることは何でしょう。議員の役割は、公正性と透明性を確保するとともに、市民に開かれた分かりやすい議会運営を行うこと、市民の意見を的確に把握して市政に反映できるよう、市民参加の多様な議会を設けること、政策の決定及び執行について監視し、評価すること、市民の意見を考慮した政策提言を行うとともに、政策立案に努めることとされています。二元代表制で選ばれた私たちは、市民の小さな声を受け取り、議会質問で取り上げながら、政策提言に生かし、住み続けられるまち、安心して暮らせるまち・松山を目指していかなければなりません。そのためには、学び続ける必要があります。看護師時代も生涯にわたり学び続けることを目標に、病気を患っている患者家族に寄り添い、共感することや看護倫理に基づいて誰人も差別することなく接した経験は、議員になった今も生かされていると思います。

今年4月に本市は50万人を切りました。人口戦略会議が今年4月24日に公表した地方自治体持続可能性分析レポートによりますと、本市は、若年女性人口が減少する見込みで、自然減対策や社会減対策が必要な自治体とされています。こうした本市の課題を踏まえ、また自身の経験に基づいて、私は副議長として次の3つのことを目指したいと思います。

1つには、人口減少社会を生き抜く未来ある若者や女性の意見を酌み取れる議会を目指していければと思います。女性模擬議会や中高生議会など、幅広く意見を聞く機会があればと思います。

2つには、コロナ禍を経験し、オンライン方式に取り組める環境が整いつつあります。この機を生かし、議会報告会に市民の皆様がより参加できるように、ハイブリッド方式を取り入れた環境づくりを目指していきたいと思います。

そして3つには、品位ある議会人として倫理観を高め、人を責めるのではなく、事象に焦点を当てるような議会質問に取り組み、市民に信頼を寄せられる議会を目指します。

結びに、副議長の役割は、議長を補佐することにあります。皆様方に御指導を仰ぎながら、公正・公平な議会運営に努めてまいりたいと決意をしております。議員各位の御理解、御支援を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

○白方 仁事務局長 以上で、清水尚美議員の所信表明は終わりました。

以上で、松山市議会副議長選挙に係る所信表明会を終了いたします。

— 午後3時27分開会 —